

2023年10月10日

鹿児島大学病院リハビリテーション病棟に
脳血管疾患の病名で入院したことがある患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

片麻痺、高次脳機能障害を伴う脳血管疾患患者のトイレ動作自立に関する考察

【研究の目的】

トイレ動作が自立することは患者さんの羞恥心を感じさせる機会を減らし、生活の質の改善に繋がると考えます。脳血管疾患の患者さんが自宅退院するためには身体機能、日常生活動作能力、年齢、性別、家族状況、経済状況などさまざまな要因が影響すると言われております。片麻痺、高次脳機能障害のある患者さんのトイレ動作の自立に向けた関わりについて考察します。

【研究の方法】

後向き研究（事例研究）

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2028年3月31日

【対象となる患者さん】

2021年12月から2023年7月に当病棟に入院した脳血管疾患患者さんで、入院時のFIM¹⁾の「トイレ動作」の項目が2点以下であり、入院時の上肢・手指・下肢が全てBrs²⁾Ⅱ以下、かつ片麻痺と高次脳機能障害を有する患者さんのうち後ろ向きに情報が十分にあった方を対象にしています。

用語説明：

1)Functional Independence Measure (FIM)

日常生活動作の介助量を評価する方法で運動項目と認知項目を7段階で評価します。

2)Brunnstrom stage (Brs)

脳血管障害の後遺症である麻痺の程度やその回復過程をステージ化した評価方法です。ステージⅠ～Ⅵまであり、上肢、手指、下肢で評価を行います。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

収集項目：入退院時のBrsおよびFIM、高次脳機能障害の有無（失語、失認、失行、注意障害）、リハビリ内容、病棟内の訓練方法、入院生活のなかでの看護師の援助方法、外出・外泊訓練の有無、インシデントの有無、カンファレンスの内容、身体抑制の有無、失禁の有無、尿意の有無、年齢、性別

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 橋口 照人

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院

リハビリテーション病棟

役職 看護師 氏名 假屋 裕華

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口 照人

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学病院リハビリテーション病棟の研究費（用途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院 リハビリテーション病棟

役職 看護師 氏名 假屋 裕華

電話 099-275-6560